

## 名取 功

学校名：秦野市立渋沢中学校 担当教科：英語科

### 1. 今回のカンボジア研修における目的やねらい

今回の研修の目的やねらいは主に3つあります。1つ目は、カンボジアの教員や生徒に日本の中学校の様子を伝えることです。また、カンボジアの学校や生徒の様子を日本の中学生に伝え、双方つながりを持てればと考えています。また、そこから中学生に今何ができるかを考えさせたいと思っています。2つ目は、カンボジアの良いところや問題点など現状を知り、歴史や文化も含めて体感できればと考えています。最後に、カンボジアで活躍している日本人や現地の人達と接し、彼らの仕事や経験を中学生に伝え、将来の進路について考えさせたいと思っています。

### 2. 目的やねらいの達成度

深く、関わりを持つべきだったと反省すべきところもあります。また、一貫した取り組みをすべきだったという思いもあります。しかし、日本友好学園で生徒達に日本の中学生の様子を伝えられた点や彼らにインタビューできた点、現地で活躍する日本人やカンボジアの人達と接することが出来た点など、これから授業をする際のポイントや足掛かりは押さえられたと思います。授業を通し、カンボジア（または世界）と日本のつながりについて、さらにどのように深めていけるか、生徒と共に考えていけたらと思っています。

### 3. カンボジアから学んだこと

カンボジアから学んだことは沢山ありますが、3つあげたいと思います。1つ目は、内戦後30年、長い年月のように思われますが、今でも人々の心の中に当時の辛い思い出があることが分かりました。日本では、倍以上の戦後64年経っています。ようやく今になって当時の話をしだす人もいます。人間が感情を整理し、次につなげていくまでには相当の時間が必要だと考えさせられました。次に、様々な問題を抱えながらも、会う人会う人が、笑顔で私達に接してくれるのが印象的でした。逆の立場だったら、自分には出来る自信がありません。でも、その笑顔のおかげで、貴重な体験が出来ました。そして最後に、カンボジアの明日のために、教育のために努力する教員の熱意や生徒の真剣な眼差しに感動しました。私自身教員として、どれだけの使命を持って生徒に関わってきたのかと考えさせられるところが多々ありました。

### 4. 研修経験をどのように教育活動に活用しようと思っているか

今まで、教科書に出てくる国々は授業で紹介してきました。しかし、今回このような形で、開発教育・国際理解教育を学ぶのは初めての経験です。私は、今3年生を教えています。まず、3年生を中心に「世界の問題について」考えてもらいたいと思っています。次にカンボジアを例に、人々の暮らし・歴史・文化等について取り上げたいと思います。また、カンボジアで活躍する日本人や現地の人達を紹介し、生徒の将来の進路選択に活かしてもらいたいと思っています。そして、世界に向けて何ができるかを考えさせたいと思います。さらに、生徒会を中心に全校集会で渋沢中学校からカンボジアを始めとする世界に何らかの形で発信できればと考えています。

### 5. 研修に参加してよかったことや、よりよくするための提案

非常に内容が濃く、一日一日が充実していて、とても刺激的でした。政府レベルから住民レベルまで様々な視点からカンボジアを見ることができ、体験できたのが、素晴らしいことだったと思います。また、参加者全員が、この研修からできるだけ多くのことを学び取ろうとする気持ちが強かったのも良かった点です。改善点は、時間に余裕を持ち、振り返りの時間を必ず持つ、などがあげ

られるかもしれませんが。しかし、全体でというわけではありませんが、バスでの移動中や隙間の時間で意見交換をすることが出来ました。また、私にとって早朝から夜まで可能な限りカンボジアを肌で感じる事が出来たのが貴重な経験です。

#### 6. その他研修全般を通じての感想・意見など

この研修に参加させていただいたこと、この研修に関わった方々に感謝の気持ちで一杯です。カンボジアという一つの接点から、沢山の人達と関わりを持ち、それぞれの方々のここまでの人生や生き方を学べたのが、とても良い経験です。また、このことが今後の自分の人生に役立つことだと考えています。また、参加した先生方の研修に対する積極的な思いやチームワークの良さ、明るさのおかげで、助けられ、有意義な研修になりました。ありがとうございます。

#### 7. 今後の本研修参加者へのアドバイス等

第一に大切なのは、体調管理です。私は最終日前日の夜、気が抜けてエアコンで冷えてしまい、体調を崩してしまいました。具合が悪いと、活動に集中できません。気をつけてください。第二に、事前の準備です。訪問先では時間の制約があります。他の先生が実践されていましたが、簡潔で一貫した質問を各所でインタビューすることや直ぐにできる日本文化の紹介（折り紙や歌）などを用意しておく方が良いと思います。また、通訳さんや運転手さんとは比較的長い時間一緒にいることが出来ます。現地の方の意見を聞くとても良い方法だと思います。

